

令和7年度 北海道池田高等学校 学校評価票

○学校教育目標、スクール・ミッション、スクール・ポリシーは別紙をご確認ください。(学校要覧 p 4)
○平均が3.5以上と平均2.8以下は色けをつけています。また、前年比と比べて増減が大きいものも色をつけています。

【評価】 4: そう思う 3: おおむねそう思う 2: あまり思わない 1: 思わない

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
学校教育活動全般	1	本校の教育活動は、生徒の実態や保護者・地域の願いに応えたものになっている。	3.2	3.2	3.3	【成果】 ・今年度も、学校ホームページの更新を毎日継続でき、新聞社への積極的な情報提供も行うことができた。 ・「保護者・生徒の目線に立つこと」をテーマに、各種教育活動に取り組んだ結果、NO4の教員評価が向上した。 【課題】 NO2の生徒および保護者からの評価が、期待していたほど伸びなかった。情報の受け取り手段が多様化(SNSの利用・勝毎の未購読など)していることが一因と考えられる。	・学校の情報をマルチチャンネルで発信する。ホームページと各種SNSを連携させて、より多くの人に情報が届くようにする。 ・生徒の様子に変化が見られたときには、家庭への情報提供と家庭との情報共有を密に行えるよう体制を強化する。その際、家庭での様子や保護者の困り感なども共有する。	3.2
		前年対比	-0.1	0.1	0.1			
	2	学校からの配布物や学校ホームページ、新聞報道などから本校の取り組みや教育活動の様子が保護者や地域に伝わっている。	3.2	3.1	3.5			3.3
		前年対比	0	0	0.2			
	3	本校は、保護者に生徒の学習や生活の様子をわかりやすく説明し、心身の健康などについても連携を図っている。	3.0	2.9	3.3			3.0
		前年対比	-0.2	-0.1	0.2			
4	本校の職員は、保護者・地域からの相談や連絡などに対し誠意をもって対応している。	3.3	3.2	3.5	3.5			
	前年対比	0	0.1	0.1				
学校関係者からの意見		・池田高校が実践している探究授業の取り組みを強みとして、引き続き生徒増につながる魅力ある授業内容に努めてほしいと考える。 ・ホームページや広報誌、新聞記事により、魅力ある学校活動の情報発信に努められている。今後、中学生やその保護者へ、より伝わりやすい方法による情報発信を期待したい。						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
学習に関する活動	5	本校は、生徒に基礎的・基本的な知識や技能が身に付くような授業(学習活動)を行っている。	3.5	3.3	3.3	【成果】 学習活動や学習指導においては、NO5の生徒の評価からも読み取れるように、理解しやすい説明や取り組みができたと考えられる。 【課題】 「自ら学ぶ態度」の育成が課題である。授業や家庭学習において、主体的に学ぼうとする姿勢が十分に見られない場面があった。	・自分で考える活動を充実させる。一方的な説明だけでなく、問いかけやグループワークを取り入れ、生徒が自ら考え、発言する機会を増やす。 ・探究活動を軸に、生徒が興味関心を持って取り組める課題を提示し、自主的な学びを促す。	3.7
		前年対比	0	0.1	0			
	6	本校は、選択科目の説明会や面談を通して、生徒一人ひとりに目標を持たせる学習指導を行っている。	3.3	3.1	3.2			3.3
		前年対比	-0.1	-0.1	0.1			
	7	本校は、課題(宿題)の指示や提出・確認など、生徒が家庭学習に取り組む指導を行っている。	3.0	2.9	2.8			3.0
		前年対比	-0.1	-0.1	0			
学校関係者からの意見		・本年度の進路動向からも、生徒の日頃の学習における成果が表れており、今後も継続してほしいと考える。						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
基本的生活に関する活動	8	本校は、生徒に服装・頭髪などの身だしなみを整え、挨拶や時間を守るなどの基本的な生活習慣を身に付ける指導を行っている。	3.2	3.1	3.0	【成果】 ・生徒・保護者の双方から、概ね理解を得ることができた。 ・特別支援委員会(月1回の実施)により、生徒情報の共有を密に行うことができた。 【課題】 教育相談のさらなる充実が課題である。生徒一人ひとりに応じた支援が十分に行き届いていない場面も見られた。	・生徒が自律できるよう、生徒との対話を充実させた生徒支援を今後も継続する。 ・特別支援委員会だけでなく、日々の職員間の声かけを通じて、生徒の小さな変化にも早く気づける体制を強化する。 ・生徒への教育相談スキルの向上を図るための研修を実施する。	3.2
		前年対比	0	0.0	0.1			
	9	本校は、生徒が抱える悩みなどの相談に誠実に対応している。	3.0	3.0	3.3			3.0
		前年対比	-0.2	0.0	0.2			
	10	本校は、自他の生命を大切に、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	3.1	3.2	3.3			3.0
		前年対比	0	0.3	0.2			
学校関係者からの意見		・日頃から、教職員による生徒に寄り添った教育活動を実践していると考えます。						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
進路実現に向けた活動	11	本校は、生徒一人ひとりの進路希望実現に向けて、適性や希望に応じた進路指導を行っている。	3.4	3.2	3.5	【成果】 総合学科の特色を活かした進路活動を展開することができた。今年度は、総合型選抜入試や学校推薦型選抜入試を通じて、すでに国立大学に3名の合格者を出すことができた。 【課題】 保護者への進路情報の共有方法に課題がある。資料配布だけでは十分に伝わらない場面もあり、情報の受け取り方に個人差が見られた。	・最新の進路動向を把握するため、外部機関を活用した校内研修を実施する。あわせて、校内での取り組みや生徒の進路状況を教職員間で共有する時間を設け、組織的な支援体制を整える。 ・進路活動の年間スケジュールや、進路決定までの流れを図や表でわかりやすく示し、保護者・生徒ともに見通しを持って取り組めるようにする。	3.8
		前年対比	-0.2	0	0.1			
	12	本校は、総合学科の特色を活かし生徒の社会的・職業的自立のために必要な力が身につくような活動(キャリア教育活動)を行っている。	3.5	3.2	3.4			3.8
		前年対比	0	0.1	0.3			
	13	本校は、保護者に進路に関する情報を提供し、家庭と連携を図りながら生徒一人ひとりの進路実現を図っている。	3.3	3.0	3.2			3.2
		前年対比	-0.1	-0.1	0.1			
学校関係者からの意見		・生徒の将来の夢を実現させるため、引き続き、学習指導と進路指導を実践してほしいと考える。						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
その他の活動	14	本校は、地域と連携した教育活動に積極的に取り組んでいますか。	3.5	3.3	3.8	【成果】 探究活動だけでなく、各教科においても地域の教育資源を活用した教育活動を展開することができた。各校種や町との連携も図ることができた。 ・先生方の教育実践(授業や課外活動)の校内での共有が進んだ。 【課題】 ・先生方の教育実践を外へ発信する方法に課題がある。	・学校ホームページやSNS、池田町の広報誌などを活用し、教育実践の成果を定期的に発信する。 ・発信内容の整理や発信方法の工夫を進める。負担を分散しながら継続的な発信を目指す。	4.0
		前年対比	-0.1	0.1	0.3			
	15	本校の生徒は、学校行事、校外活動、部活動などを活発に行っていますか。	3.3	3.3	3.1			3.2
		前年対比	-0.1	0.1	0.3			
	16	本校の先生方は、熱心に各種の教育活動に取り組んでいますか。	3.3	3.2	3.3			3.5
		前年対比	0	0.1	-0.1			
学校関係者からの意見		・部活動において、より一層の生徒の活躍を期待したいと考える。 ・小高連携の事業が定着し、小学校でも大変好評だと聞いている。ぜひ今後も継続してほしい。 ・課題研究発表会に参加したが、生徒たちが地域の方との関わりを深め自ら考え行動している姿勢が素晴らしいと思った。						

領域	NO	評価項目	生徒	保護者	教員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
その他の活動項目	17	今後、本校の教育活動を良いものとするために、力を入れた方が良いと思われるものに○をつけてください。(いくつつけてもけっこうです)						力を入れた方が良いと思われるものに○をつけてください。(いくつつけてもけっこうです)
		基礎学力	47%	48%	79%	①基礎学力は三者ともに評価が高く、進路実現や探究活動、資格取得においてその重要性を実感していると考えられる。 ②心の教育も関心が高く、支援の方法や頻度、対応者など、個に応じた柔軟な対応が求められている。 ③資格取得については、 <u>生徒は努力の必要性を感じており、保護者には検定情報が十分に伝わっていない可能性がある。</u>	①について、スタディサプリ(外部教材)や小テストを活用し、理解度をこまめに確認する。また、探究活動や資格取得と関連づけて、基礎学力の活用場面を示す。 ②について、生徒の実態に応じた支援方法を検討し、教職員間での情報共有を徹底する。 ③について、生徒には、目標設定や学習計画の立て方を支援し、主体的な取り組みを促す。 <u>保護者には、検定情報を「楽メ」で定期的に発信する。</u>	基礎学力
		前年対比	11%	-5%	8%			67%
		心の教育	38%	50%	86%			心の教育
		前年対比	10%	3%	0%			50%
		いじめ対策	32%	30%	14%			いじめ対策
		前年対比	-4%	4%	-22%			0%
		部活動	41%	30%	14%			部活動
		前年対比	13%	9%	0%			33%
		進学指導	35%	25%	50%			進学指導
		前年対比	2%	-9%	14%			17%
		就職指導	41%	20%	57%			就職指導
		前年対比	9%	-9%	28%			50%
		中高連携	24%	32%	0%			中高連携
	前年対比	6%	14%	-21%	50%			
	資格取得	59%	50%	14%	資格取得			
	前年対比	26%	-13%	-15%	50%			
学校関係者からの意見		・新聞で出願数を見ました。学校のご尽力に敬意を表します。						